

第7次豊川市総合計画策定 将来人口目標検討資料

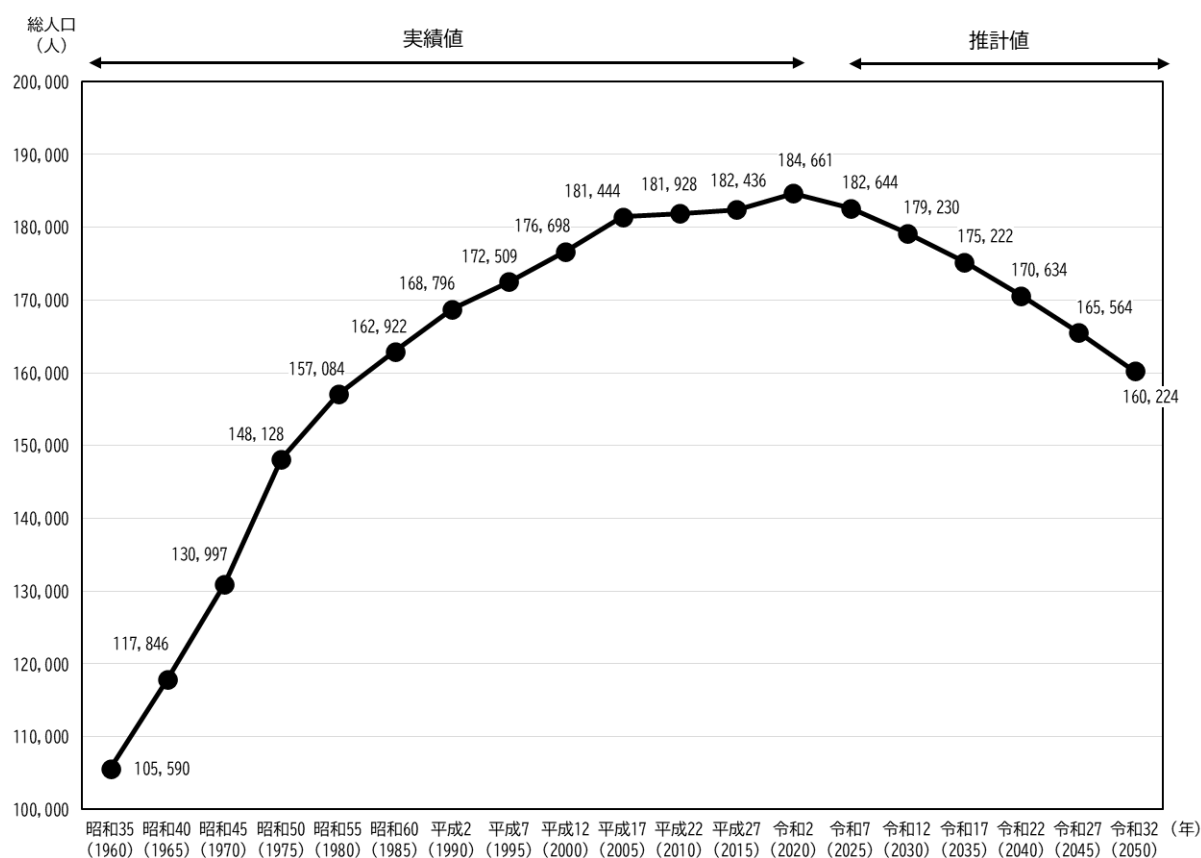
令和7年（2025年）7月

1. 現状と見通し

(1) 人口推移と見通し

本市の人口は令和2年(2020年)の184,661人をピークに減少していく人口推計が、国立社会保障・人口問題研究所(以下「社人研」という。)による「日本の地域別将来推計人口(令和5(2023)年推計)」より出されており、令和32年(2050年)には160,224人まで低下することが見込まれている。

図表 豊川市の総人口推移と将来推計



出典：国勢調査(実績値)
国立社会保障・人口問題研究所 日本の地域別将来推計人口(令和5(2023)年推計)(推計値)
※合併以前の年においては、旧4町(一宮町、音羽町、御津町、小坂井町)の人口を含む

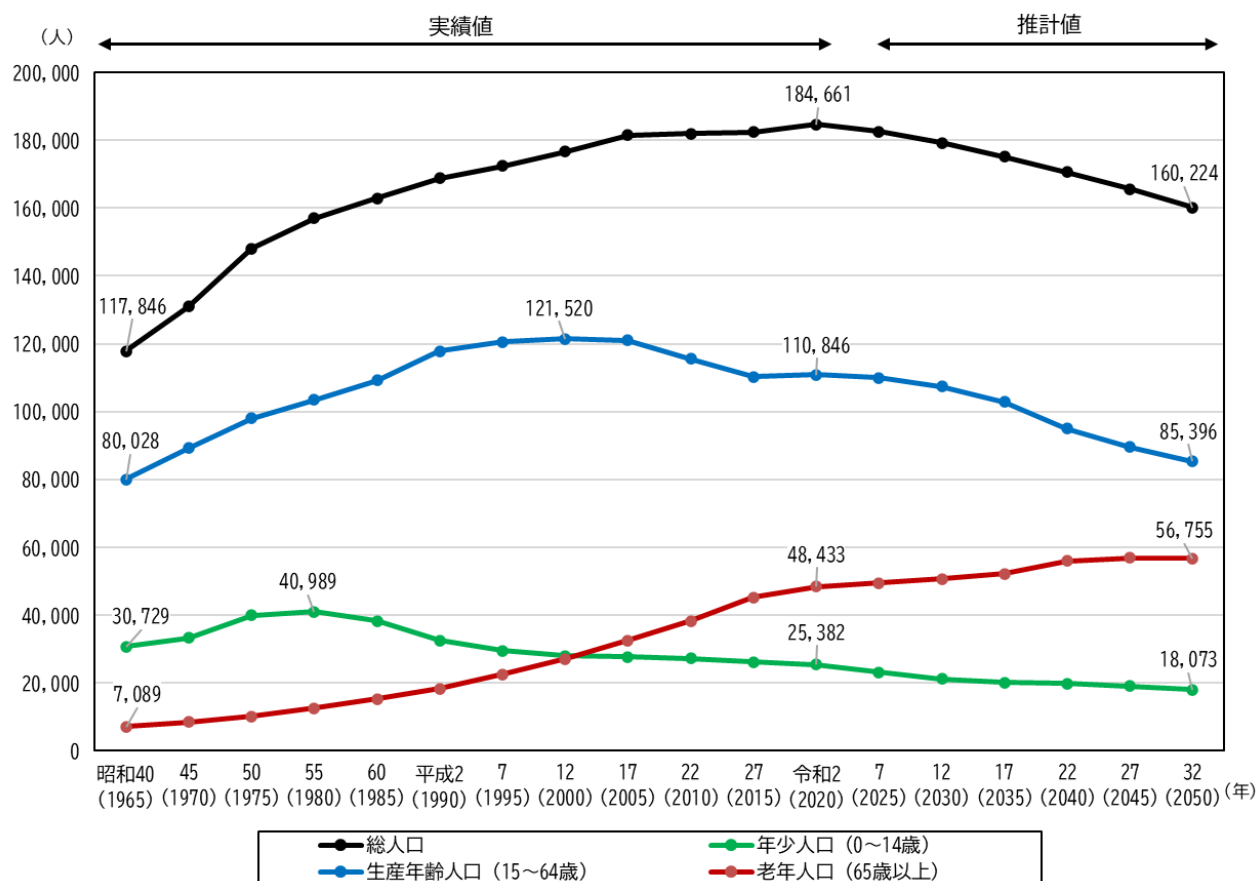
(2) 年齢3区分人口の推移

本市の年齢3区分別の人口の推移と推計について、生産年齢人口（15～64 歳）は平成 12 年（2000 年）の 121,520 人（人口割合 68.8%）をピークに減少し、令和 32 年（2050 年）には 85,396 人（人口割合 53.3%）になると推計されている。

年少人口（0～14 歳）も昭和 55 年（1980 年）の 40,989 人（人口割合 26.1%）をピークに減少し、令和 32 年（2050 年）には 18,073 人（人口割合 11.3%）まで減少する推計となっている。

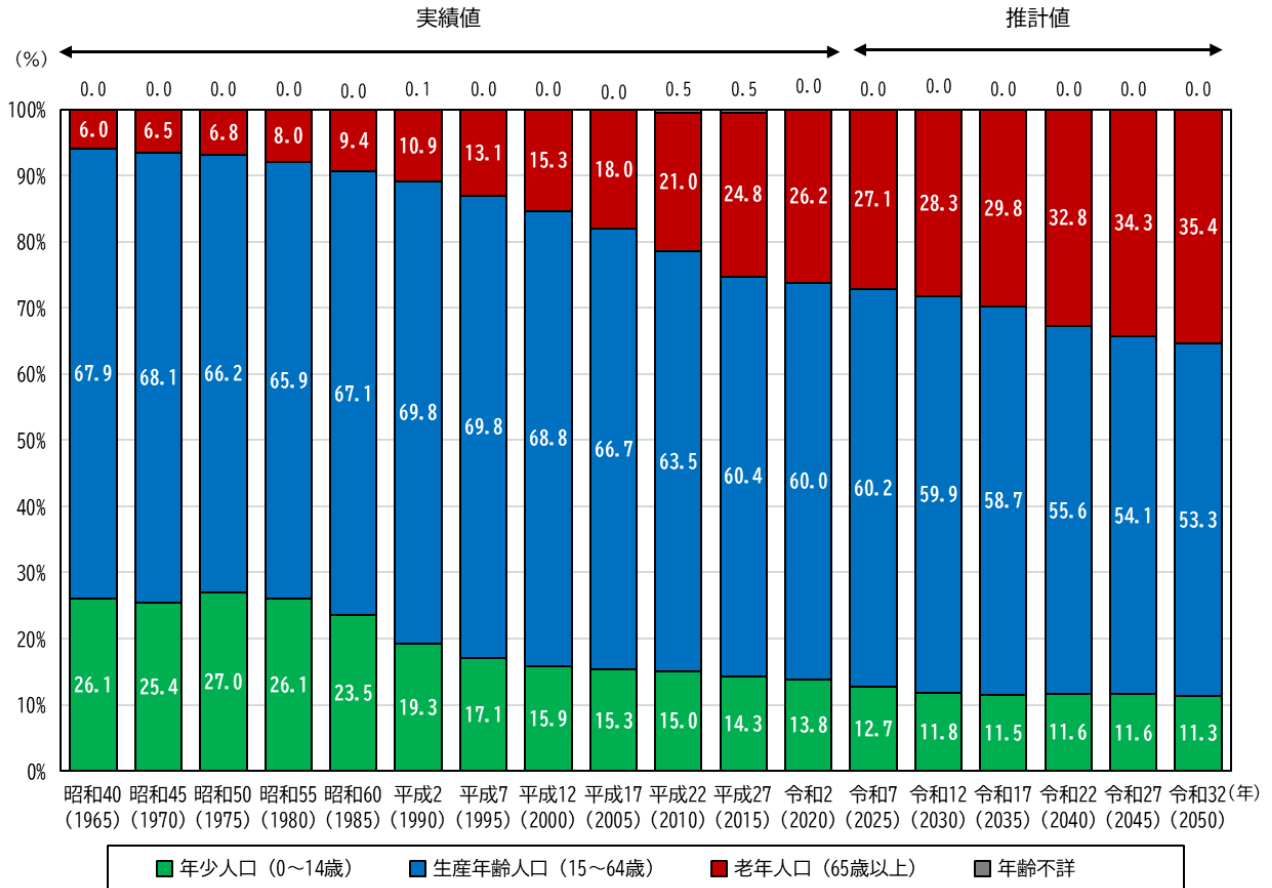
一方、老年人口（65 歳以上）については、令和 32 年（2050 年）には 56,755 人（人口割合 35.4%）まで増加する推計となっており、その際、老年人口 1 人を生産年齢人口 1.50 人で支えることとなる見込みである。

図表 豊川市の年齢3区分別人口の推移と推計



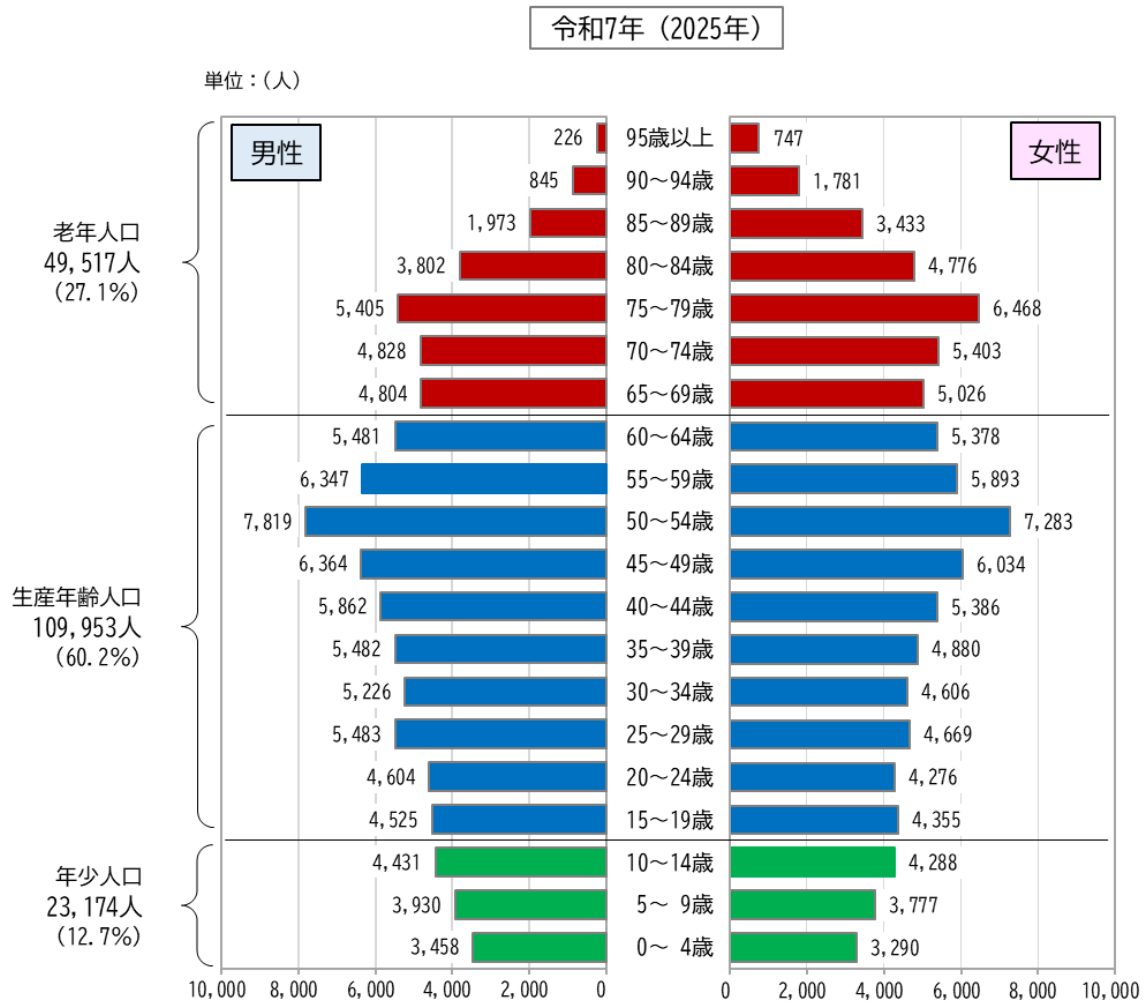
出典：国勢調査（実績値）
 国立社会保障・人口問題研究所 日本の地域別将来推計人口（令和 5（2023）年推計）（推計値）

図表 豊川市の年齢3区分別人口割合の推移と推計（人口割合）



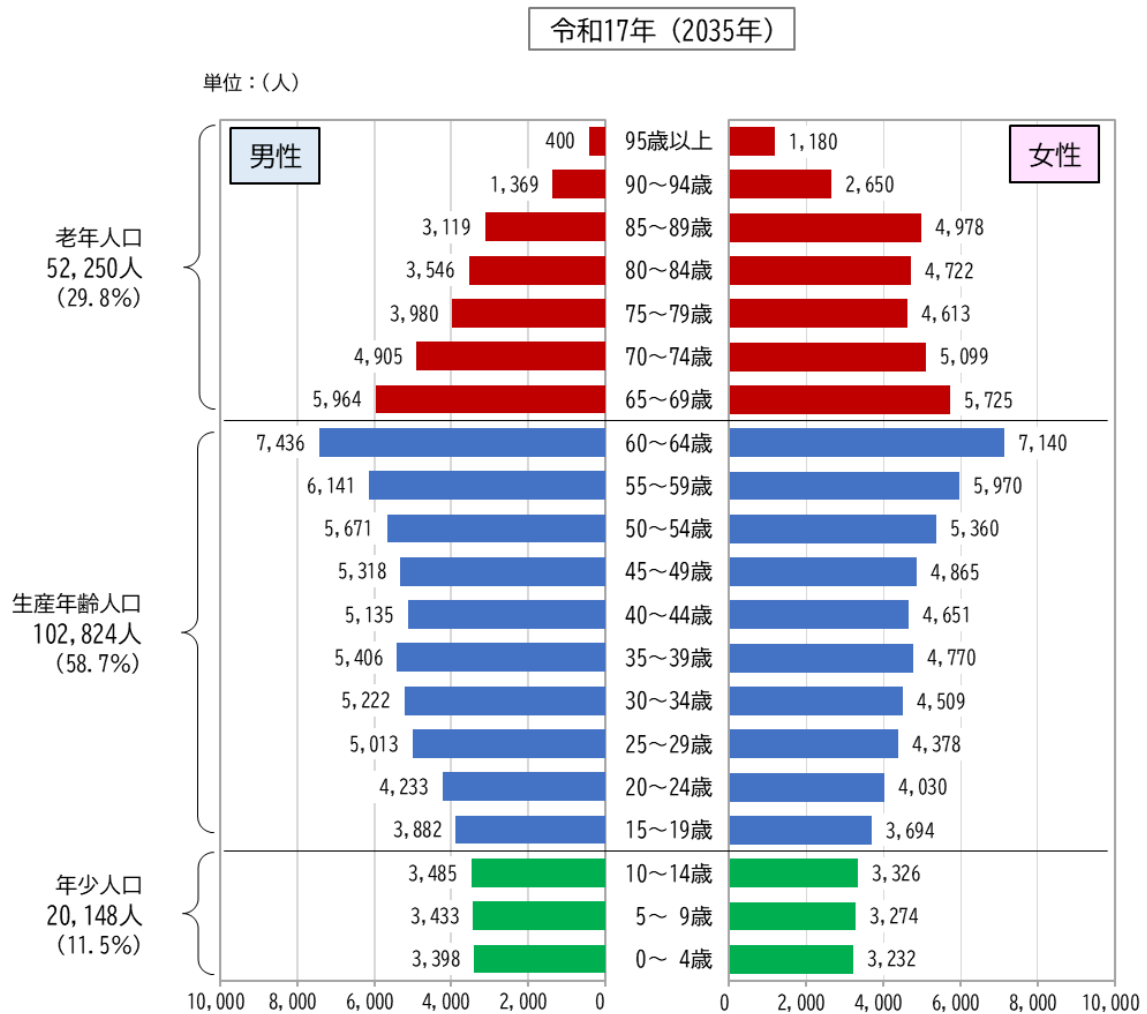
出典：国勢調査（実績値）
 国立社会保障・人口問題研究所 日本の地域別将来推計人口（令和5（2023）年推計）（推計値）

図表 豊川市の年齢階層別人口推計（2025 年）



国立社会保障・人口問題研究所 日本の地域別将来推計人口（令和5（2023）年推計）（推計値）

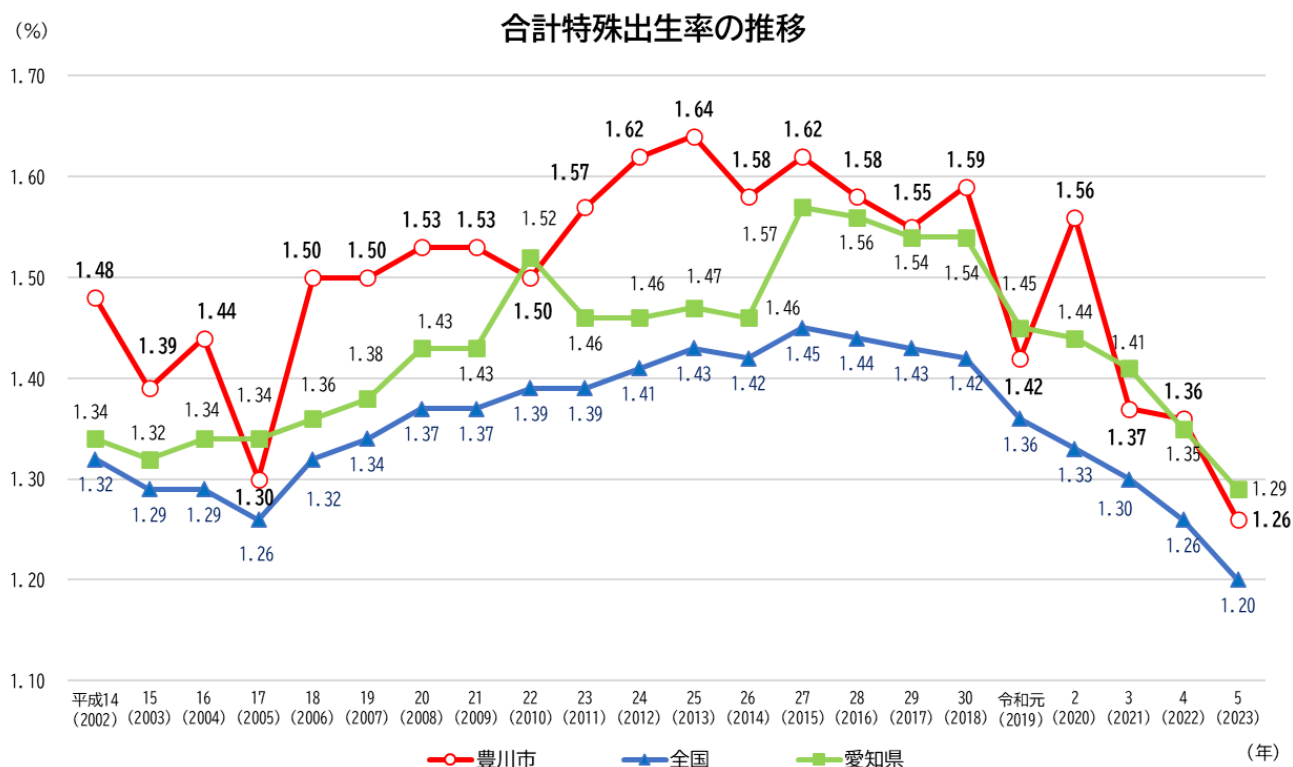
図表 豊川市の年齢階層別人口推計（2035 年）



国立社会保障・人口問題研究所 日本の地域別将来推計人口（令和 5（2023）年推計）（推計値）

(3) 合計特殊出生率の推移

1人の女性が一生に産む子どもの数に相当する「合計特殊出生率」の推移について、本市では国や県と比較してわずかに高い水準で推移していたが、令和5年（2023年）では1.26と、県の1.29よりも下回る結果となっている。



出典：庁内資料（市）、厚労省公表値（国・県）

2. 人口シミュレーション（その1／令和6年度検討）

（1）シミュレーションの条件

国の長期ビジョン（令和元年度改訂版）において、令和42（2060）年に約1億人の人口を維持するには、合計特殊出生率を令和12（2030）年までに1.80、令和22（2040）年までに2.07まで回復するモデルが示されている。

また、本市における合計特殊出生率は、平成17（2005）年の1.30から平成22（2010）年に1.50、平成27（2015）年に1.62へと上昇しているものの、直近における令和3（2021）年には1.37、令和4（2022）年には1.36と下降している状況にある。

国および本市の状況を踏まえ、国の長期ビジョン（令和元年度改訂版）に基づき長期的に合計特殊出生率の引き上げを図るとともに、過去の推移状況を鑑みながら、合計特殊出生率、生残率および純移動率を次のように設定し、これらを組み合わせた4つのパターンにより本市の将来の総人口に関するシミュレーションを行う。

① 合計特殊出生率の設定

以下の2つを設定する。

設定A）社人研で推計した合計特殊出生率。

設定B）令和42（2060）年に2.07となるよう、令和4（2022）年の1.36から平均的に上昇させていく合計特殊出生率。

図表 合計特殊出生率

	令和7年 (2025)	令和12年 (2030)	令和17年 (2035)	令和22年 (2040)	令和27年 (2045)	令和32年 (2050)	令和37年 (2055)	令和42年 (2060)	令和47年 (2065)	令和52年 (2070)
設定A	1.46368	1.50460	1.54493	1.55021	1.55292	1.56080	1.56080	1.56080	1.56080	1.56080
設定B	1.37000	1.47000	1.57000	1.67000	1.77000	1.87000	1.97000	2.07000	2.07000	2.07000

② 生残率の設定

社人研が推計した男女・5歳階級別の生残率を設定する。

③ 純移動率の設定

以下の2つを設定する。

設定C）社人研が推計した男女・5歳階級別の純移動率。

設定D）社人研が推計した男女・5歳階級別の純移動率のうち、0歳～44歳までの純移動率がマイナスの場合はゼロとする。

④ 4つのパターンのシミュレーション

パターン	合計特殊出生率の設定	純移動率の設定
パターン1	・ 社人研で推計した合計特殊出生率。 (設定A)	・ 社人研が推計した男女・5歳階級別の純移動率。(設定C)
パターン2	・ 令和42(2060)年に2.07となるよう、 令和4(2022)年の1.36から平均的に 上昇させていく合計特殊出生率。 (設定B)	・ 社人研が推計した男女・5歳階級別の純移動率。(設定C)
パターン3	・ 社人研で推計した合計特殊出生率。 (設定A)	・ 社人研が推計した男女・5歳階級別の純移動率のうち、0歳～44歳までの純移動率がマイナスの場合はゼロとする。(設定D)
パターン4	・ 令和42(2060)年に2.07となるよう、 令和4(2022)年の1.36から平均的に 上昇させていく合計特殊出生率。 (設定B)	・ 社人研が推計した男女・5歳階級別の純移動率のうち、0歳～44歳までの純移動率がマイナスの場合はゼロとする。(設定D)

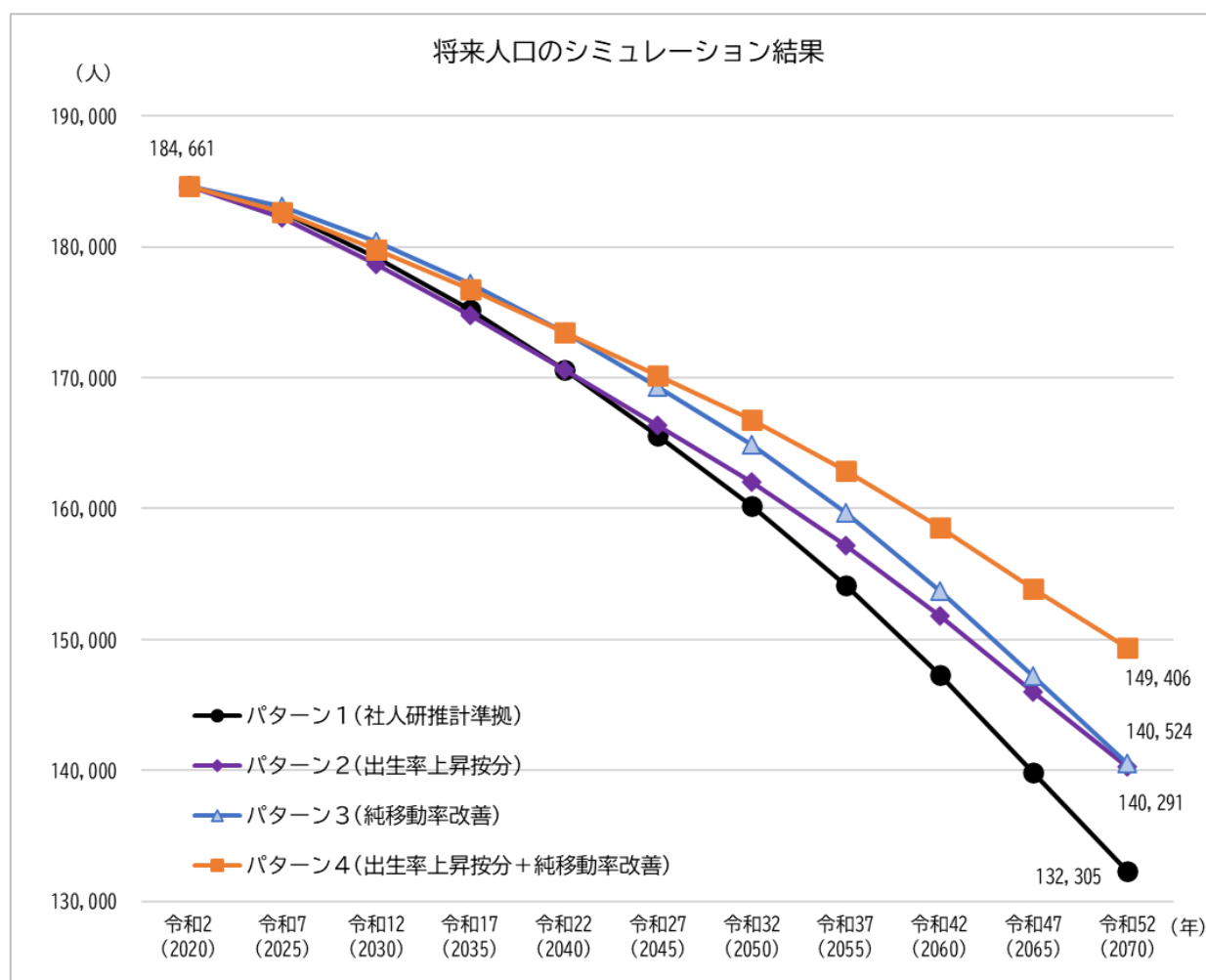
(2) シミュレーションの結果

4 パターンでの人口シミュレーションの結果は、以下のとおりとなった。

また、参考資料として、国の長期ビジョン（令和元年改訂版）に示すモデルのように合計特殊出生率が上昇した場合（令和 12（2030）年に 1.80、令和 22（2040）年に 2.07）のパターンも推計して掲載した。

図表 将来人口のシミュレーション結果

推計パターン		令和2年 (2020)	令和7年 (2025)	令和12年 (2030)	令和17年 (2035)	令和22年 (2040)	令和27年 (2045)	令和32年 (2050)	令和37年 (2055)	令和42年 (2060)	令和47年 (2065)	令和52年 (2070)
パターン1	総人口	184,661	182,644	179,231	175,222	170,634	165,565	160,224	154,147	147,256	139,844	132,305
	0～14歳	25,382	23,174	21,174	20,148	19,776	19,141	18,073	16,740	15,408	14,356	13,663
	15～64歳	110,846	109,953	107,413	102,824	94,934	89,601	85,396	81,837	78,426	74,271	69,970
	65歳以上	48,433	49,517	50,644	52,250	55,924	56,823	56,755	55,570	53,422	51,217	48,672
	老年人口比率	26.2	27.1	28.3	29.8	32.8	34.3	35.4	36.0	36.3	36.6	36.8
パターン2	総人口	184,661	182,213	178,642	174,739	170,653	166,381	162,019	157,159	151,775	145,979	140,291
	0～14歳	25,382	22,742	20,586	19,666	20,222	20,519	20,354	19,773	19,199	18,758	18,655
	15～64歳	110,846	109,953	107,412	102,823	94,507	89,039	84,910	81,816	79,154	76,004	72,964
	65歳以上	48,433	49,518	50,644	52,250	55,924	56,823	56,755	55,570	53,422	51,217	48,672
	老年人口比率	26.2	27.2	28.3	29.9	32.8	34.2	35.0	35.4	35.2	35.1	34.7
パターン3	総人口	184,661	183,124	180,429	177,235	173,488	169,297	164,869	159,698	153,706	147,187	140,524
	0～14歳	25,382	23,208	21,320	20,489	20,349	19,942	19,063	17,850	16,585	15,605	15,027
	15～64歳	110,846	110,398	108,465	104,496	97,215	92,442	88,889	86,026	83,337	79,891	76,102
	65歳以上	48,433	49,518	50,644	52,250	55,924	56,913	56,917	55,822	53,784	51,691	49,395
	老年人口比率	26.2	27.0	28.1	29.5	32.2	33.6	34.5	35.0	35.0	35.1	35.2
パターン4	総人口	184,661	182,690	179,836	176,751	173,517	170,147	166,759	162,914	158,603	153,928	149,406
	0～14歳	25,382	22,774	20,727	20,005	20,816	21,387	21,475	21,089	20,676	20,410	20,542
	15～64歳	110,846	110,398	108,465	104,496	96,777	91,847	88,367	86,003	84,143	81,827	79,469
	65歳以上	48,433	49,518	50,644	52,250	55,924	56,913	56,917	55,822	53,784	51,691	49,395
	老年人口比率	26.2	27.1	28.2	29.6	32.2	33.4	34.1	34.3	33.9	33.6	33.1



また、4 パターンを比較する上で、人口増減数、自然増減数、社会増減数は、以下のとおりとなった。

推計パターン		R2-R7 (2020-2025)	R7-R12 (2025-2030)	R12-R17 (2030-2035)	R17-R22 (2035-2040)	R22-R27 (2040-2045)	R27-R32 (2045-2050)	R32-R37 (2050-2055)	R37-R42 (2055-2060)	R42-R47 (2060-2065)	R47-R52 (2065-2070)
パターン1	人口増減	-2,017	-3,413	-4,009	-4,588	-5,069	-5,341	-6,077	-6,891	-7,412	-7,539
	自然増減数	-3,117	-3,909	-4,598	-5,223	-5,597	-5,781	-6,520	-7,343	-7,855	-7,954
	社会増減数	1,100	496	589	635	528	440	443	452	443	415
パターン2	人口増減	-2,448	-3,571	-3,903	-4,086	-4,272	-4,362	-4,860	-5,384	-5,796	-5,688
	自然増減数	-3,549	-4,062	-4,490	-4,731	-4,825	-4,778	-5,282	-5,819	-6,248	-6,133
	社会増減数	1,101	491	587	645	553	416	422	435	452	445
パターン3	人口増減	-1,537	-2,695	-3,194	-3,747	-4,191	-4,428	-5,171	-5,992	-6,519	-6,663
	自然増減数	-3,082	-3,799	-4,407	-4,965	-5,270	-5,420	-6,166	-6,984	-7,475	-7,562
	社会増減数	1,545	1,104	1,213	1,218	1,079	992	995	992	956	899
パターン4	人口増減	-1,971	-2,854	-3,085	-3,234	-3,370	-3,388	-3,845	-4,311	-4,675	-4,522
	自然増減数	-3,517	-3,955	-4,297	-4,452	-4,455	-4,349	-4,834	-5,324	-5,699	-5,526
	社会増減数	1,546	1,101	1,212	1,218	1,085	961	989	1,013	1,024	1,004

3. 人口シミュレーション（その2／令和7年度検討）

（1）シミュレーションの条件

本市における合計特殊出生率について、令和5年値が1.26となり、令和4年値の1.36から大幅に低下したことが確認された。

また、令和7年6月に閣議決定された「地方創生2.0基本構想」では、人口減少が続く事態を正面から受け止め、社会経済が機能する適応策を講じる方向性などが示されている。

これまでの人口シミュレーションの検討においては、合計特殊出生率を人口置換水準である2.07まで引き上げて人口減少を食い止めることを目指してきたが、減少傾向にある本市の合計特殊出生率や「地方創生2.0基本構想」で示された方向性などを踏まえ、直近の合計特殊出生率の状況を現実的にとらえた数値目標の設定と、施策の取組による社会動態の安定化を念頭に、合計特殊出生率、生残率および純移動率を次のように設定し、これらを組み合わせた4つのパターンにより本市の将来の総人口に関するシミュレーションを行う。

なお、令和6年度の検討においては、独自推計が可能な2070年までの推計を行ったが、長期の推計とすることで実際の人口と推計値との間でより大きな誤差が生じる可能性があることを踏まえ、令和7年度の検討においては、「日本の地域別将来推計人口（令和5（2023）年推計）」と同じ2050年までの推計を行うこととする。

① 合計特殊出生率の設定

以下の2つを設定する。

設定A）令和5（2023）年の合計特殊出生率を継続。

設定B）令和32（2050）年に1.64（豊川市において近年で最も高い平成25年の合計特殊出生率）となるよう、令和5（2023）年の1.26から上昇させていく合計特殊出生率。

図表 合計特殊出生率

	令和7年 (2025)	令和12年 (2030)	令和17年 (2035)	令和22年 (2040)	令和27年 (2045)	令和32年 (2050)
設定A	1.26000	1.26000	1.26000	1.26000	1.26000	1.26000
設定B	1.26000	1.33000	1.40000	1.48000	1.56000	1.64000

② 生残率の設定

社人研が推計した男女・5歳階級別の生残率を設定する。

③ 純移動率の設定

以下の2つを設定する。

設定C）社人研が推計した男女・5歳階級別の純移動率。

設定D）社人研が推計した男女・5歳階級別の純移動率のうち、0歳～44歳までの純移動率がマイナスの場合はゼロとする。

④ 4つのパターンのシミュレーション

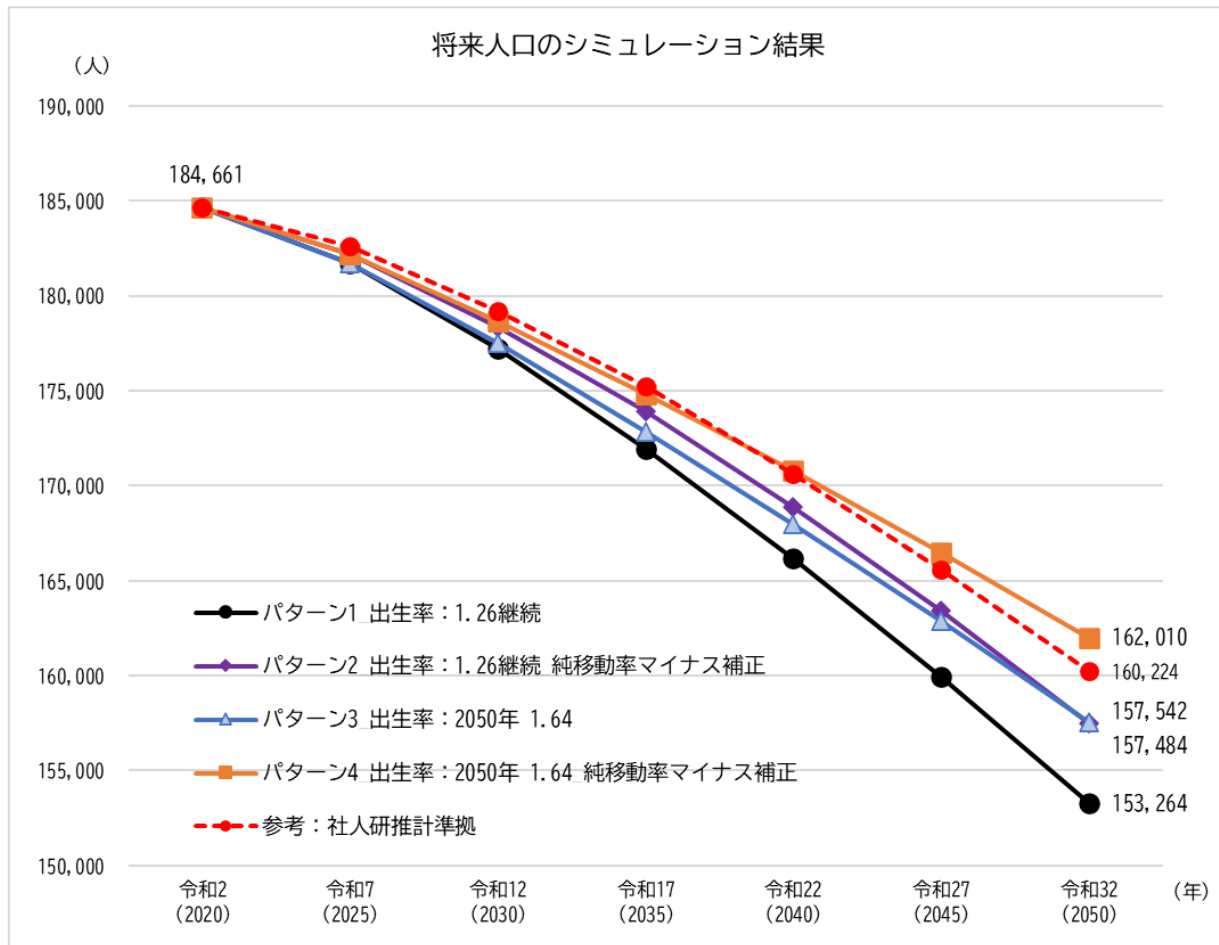
パターン	合計特殊出生率の設定	純移動率の設定
パターン1	・令和5（2023）年の合計特殊出生率。 （設定A）	・社人研が推計した男女・5歳階級別の純移動率。（設定C）
パターン2	・令和5（2023）年の合計特殊出生率。 （設定A）	・社人研が推計した男女・5歳階級別の純移動率のうち、0歳～44歳までの純移動率がマイナスの場合はゼロとする。 （設定D）
パターン3	・令和32（2050）年に1.64となるよう、令和5（2023）年の1.26から上昇させていく合計特殊出生率。（設定B）	・社人研が推計した男女・5歳階級別の純移動率。（設定C）
パターン4	・令和32（2050）年に1.64となるよう、令和5（2023）年の1.26から上昇させていく合計特殊出生率。（設定B）	・社人研が推計した男女・5歳階級別の純移動率のうち、0歳～44歳までの純移動率がマイナスの場合はゼロとする。 （設定D）

(2) シミュレーションの結果

4 パターンでの人口シミュレーションの結果は、以下のとおりとなった。(参考として、社人研の推計値と現行人口ビジョンも掲載。)

図表 将来人口のシミュレーション結果

推計パターン		令和2年 (2020)	令和7年 (2025)	令和12年 (2030)	令和17年 (2035)	令和22年 (2040)	令和27年 (2045)	令和32年 (2050)
パターン1	総人口	184,661	181,705	177,203	171,961	166,187	159,925	153,264
	0～14歳	25,382	22,235	19,146	16,887	16,258	15,463	14,320
	15～64歳	110,846	109,953	107,413	102,824	94,005	87,639	82,189
	65歳以上	48,433	49,517	50,644	52,250	55,924	56,823	56,755
	老年人口比率	26.2	27.3	28.6	30.4	33.7	35.5	37.0
パターン2	総人口	184,661	182,180	178,378	173,915	168,914	163,401	157,484
	0～14歳	25,382	22,265	19,269	17,169	16,727	16,107	15,096
	15～64歳	110,846	110,398	108,465	104,496	96,263	90,381	85,471
	65歳以上	48,433	49,517	50,644	52,250	55,924	56,913	56,917
	老年人口比率	26.2	27.2	28.4	30.0	33.1	34.8	36.1
パターン3	総人口	184,661	181,705	177,512	172,874	168,009	162,887	157,542
	0～14歳	25,382	22,234	19,455	17,800	18,080	18,118	17,711
	15～64歳	110,846	109,953	107,413	102,824	94,005	87,946	83,076
	65歳以上	48,433	49,518	50,644	52,250	55,924	56,823	56,755
	老年人口比率	26.2	27.3	28.5	30.2	33.3	34.9	36.0
パターン4	総人口	184,661	182,180	178,693	174,851	170,797	166,494	162,010
	0～14歳	25,382	22,265	19,584	18,105	18,610	18,882	18,680
	15～64歳	110,846	110,398	108,465	104,496	96,263	90,699	86,413
	65歳以上	48,433	49,517	50,644	52,250	55,924	56,913	56,917
	老年人口比率	26.2	27.2	28.3	29.9	32.7	34.2	35.1
(参考) 社人研推計	総人口	184,661	182,644	179,231	175,222	170,634	165,565	160,224
	0～14歳	25,382	23,174	21,174	20,148	19,776	19,141	18,073
	15～64歳	110,846	109,953	107,413	102,824	94,934	89,601	85,396
	65歳以上	48,433	49,517	50,644	52,250	55,924	56,823	56,755
	老年人口比率	26.2	27.1	28.3	29.8	32.8	34.3	35.4



また、4 パターンを比較する上で、人口増減数、自然増減数、社会増減数は、以下のとおりとなった。

推計パターン		R2-R7 (2020-2025)	R7-R12 (2025-2030)	R12-R17 (2030-2035)	R17-R22 (2035-2040)	R22-R27 (2040-2045)	R27-R32 (2045-2050)
パターン1	人口増減	-2,956	-4,502	-5,242	-5,774	-6,262	-6,661
	自然増減数	-4,056	-4,990	-5,820	-6,415	-6,833	-7,074
	社会増減数	1,100	488	578	641	571	413
パターン2	人口増減	-2,481	-3,802	-4,463	-5,001	-5,513	-5,917
	自然増減数	-4,026	-4,898	-5,665	-6,206	-6,577	-6,803
	社会増減数	1,545	1,096	1,202	1,205	1,064	886
パターン3	人口増減	-2,956	-4,193	-4,638	-4,865	-5,122	-5,345
	自然増減数	-4,056	-4,681	-5,219	-5,511	-5,698	-5,746
	社会増減数	1,100	488	581	646	576	401
パターン4	人口増減	-2,481	-3,487	-3,842	-4,054	-4,303	-4,484
	自然増減数	-4,026	-4,583	-5,047	-5,265	-5,379	-5,385
	社会増減数	1,545	1,096	1,205	1,211	1,076	901

(3) 本市の将来人口目標

前述のシミュレーション結果を踏まえ、本市の将来人口目標として、シミュレーション結果の中でもっとも多い人口となるパターン4を採用し、第7次豊川市総合計画に示す4つのまちづくりの基本方針に基づき施策を推進することで、令和32(2050)年において人口16万2千人程度の維持を目指すこととする。

図表 合計特殊出生率の見通し

	基準値	推計値					
	令和5年 (2023)	令和7年 (2025)	令和12年 (2030)	令和17年 (2035)	令和22年 (2040)	令和27年 (2045)	令和32年 (2050)
目標値	1.26000	1.26000	1.33000	1.40000	1.48000	1.56000	1.64000
現状維持	1.26000	1.26000	1.26000	1.26000	1.26000	1.26000	1.26000

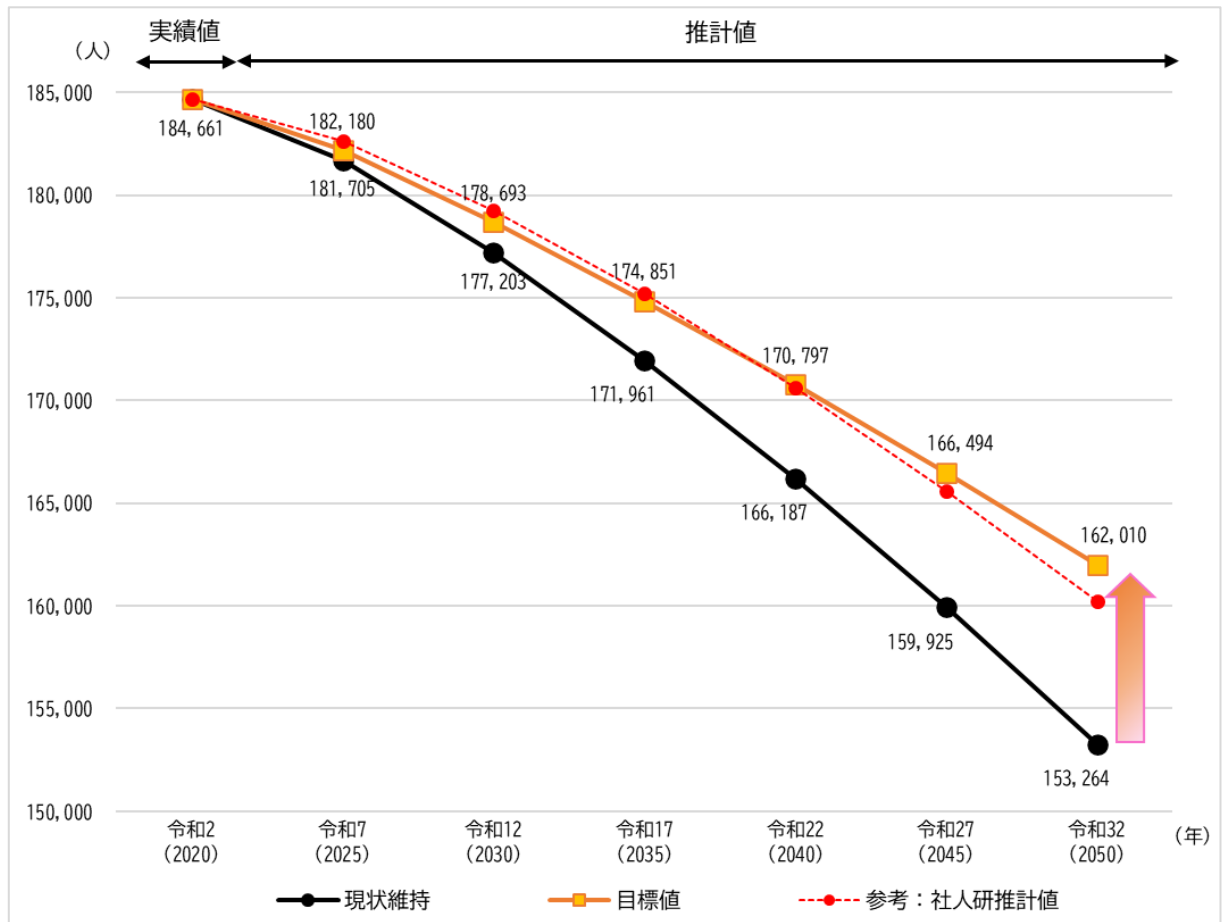
図表 年齢別人口の見通し

	令和7年 (2025)	令和12年 (2030)	令和17年 (2035)	令和22年 (2040)	令和27年 (2045)	令和32年 (2050)
総人口	182,180	178,693	174,851	170,797	166,494	162,010
0～14歳	22,265	19,584	18,105	18,610	18,882	18,680
	12.2%	11.0%	10.4%	10.9%	11.3%	11.5%
15～64歳	110,398	108,465	104,496	96,263	90,699	86,413
	60.6%	60.7%	59.8%	56.4%	54.5%	53.3%
65歳以上	49,517	50,644	52,250	55,924	56,913	56,917
	27.2%	28.3%	29.8%	32.7%	34.2%	35.2%

図表 人口増減の見通し

	R2-R7 (2020-2025)	R7-R12 (2025-2030)	R12-R17 (2030-2035)	R17-R22 (2035-2040)	R22-R27 (2040-2045)	R27-R32 (2045-2050)
人口増減	-2,481	-3,487	-3,842	-4,054	-4,303	-4,484
自然増減数	-4,026	-4,583	-5,047	-5,265	-5,379	-5,385
社会増減数	1,545	1,096	1,205	1,211	1,076	901

図表 豊川市の人口ビジョン

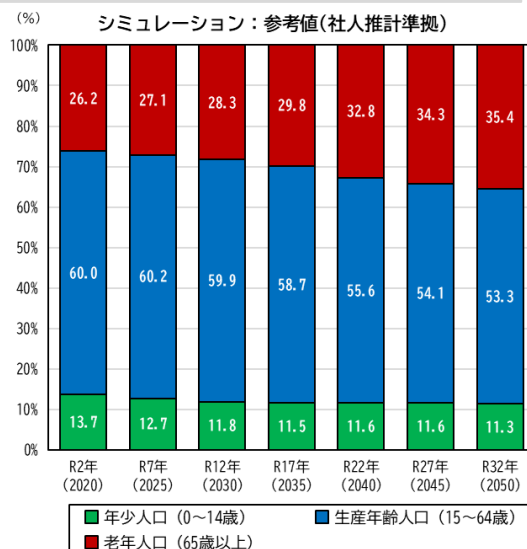
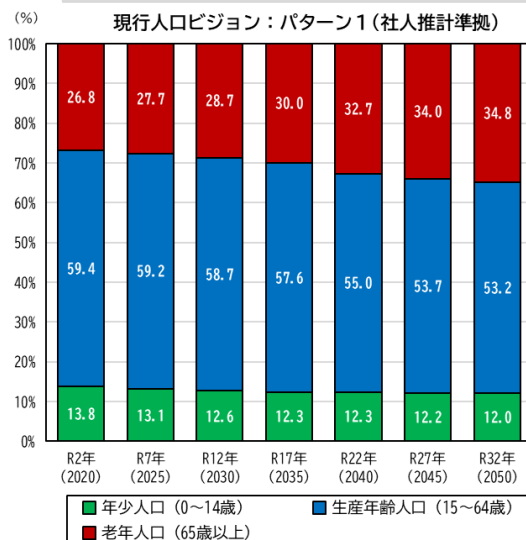
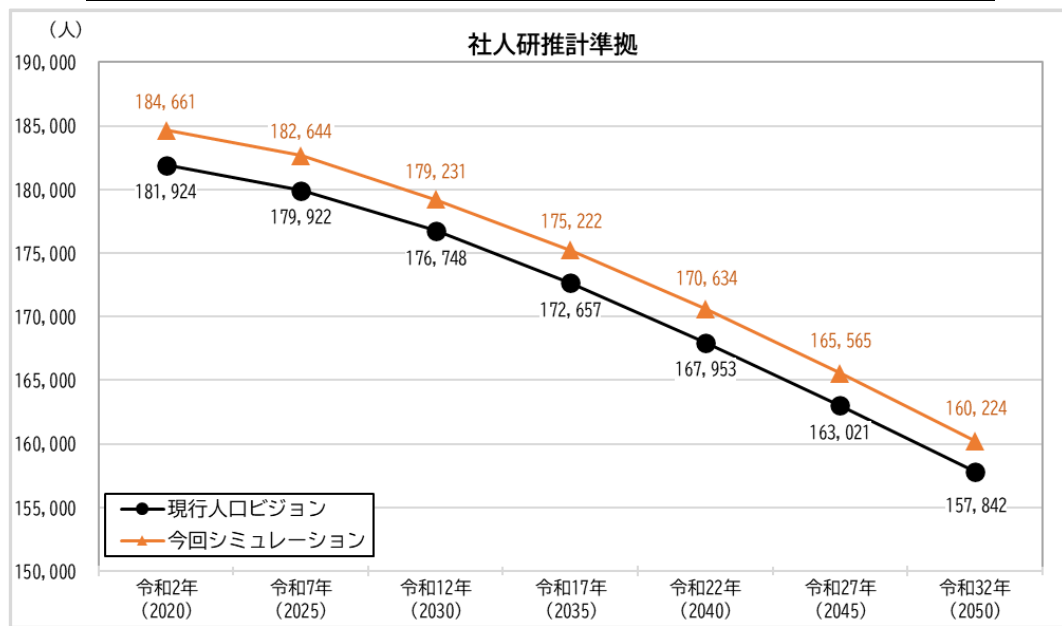


【参考】現行人口ビジョンと今回のシミュレーション結果との比較

現行の豊川市人口ビジョン（令和元年度改訂版）と今回のシミュレーション結果を比較すると、以下のとおりとなった。

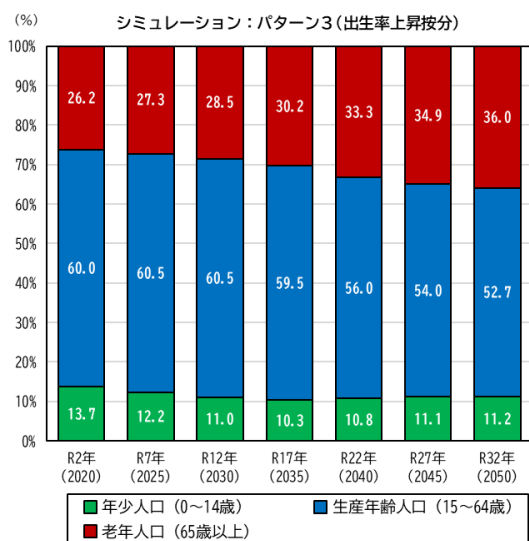
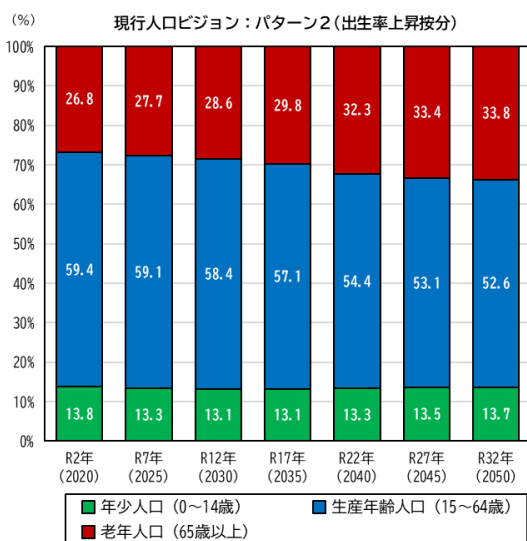
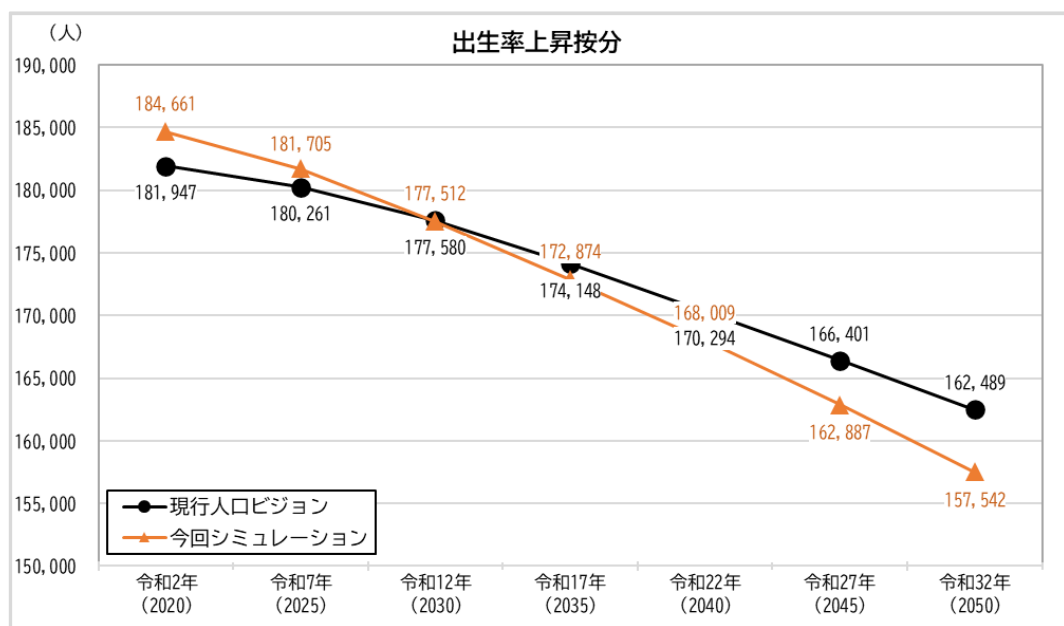
<社人研推計準拠>

		令和2年 (2020)	令和7年 (2025)	令和12年 (2030)	令和17年 (2035)	令和22年 (2040)	令和27年 (2045)	令和32年 (2050)
現行人口ビジョン	総人口	181,924	179,922	176,748	172,657	167,953	163,021	157,842
	0～14歳	25,060	23,561	22,353	21,287	20,630	19,902	19,007
	15～64歳	108,129	106,480	103,681	99,492	92,361	87,621	83,945
	65歳以上	48,735	49,881	50,714	51,878	54,962	55,498	54,890
	老年人口比率	26.8	27.7	28.7	30.0	32.7	34.0	34.8
参考値	総人口	184,661	182,644	179,231	175,222	170,634	165,564	160,224
	0～14歳	25,382	23,174	21,174	20,148	19,776	19,140	18,073
	15～64歳	110,846	109,953	107,412	102,824	94,934	89,601	85,396
	65歳以上	48,433	49,517	50,644	52,250	55,924	56,823	56,755
	老年人口比率	26.2	27.1	28.1	29.3	31.8	32.9	33.5



<出生率上昇按分>

		令和2年 (2020)	令和7年 (2025)	令和12年 (2030)	令和17年 (2035)	令和22年 (2040)	令和27年 (2045)	令和32年 (2050)
現行人口ビジョン	総人口	181,947	180,261	177,580	174,148	170,294	166,401	162,489
	0～14歳	25,083	23,900	23,186	22,756	22,638	22,474	22,193
	15～64歳	108,129	106,480	103,681	99,514	92,694	88,429	85,405
	65歳以上	48,735	49,881	50,714	51,878	54,962	55,498	54,890
	老年人口比率	26.8	27.7	28.6	29.8	32.3	33.4	33.8
シミュレーション	総人口	184,661	181,705	177,512	172,874	168,009	162,887	157,542
	0～14歳	25,382	22,234	19,455	17,800	18,080	18,118	17,711
	15～64歳	110,846	109,953	107,413	102,824	94,005	87,946	83,076
	65歳以上	48,433	49,518	50,644	52,250	55,924	56,823	56,755
	老年人口比率	26.2	27.3	28.5	30.2	33.3	34.9	36.0



<出生率上昇按分+純移動率改善>

		令和2年 (2020)	令和7年 (2025)	令和12年 (2030)	令和17年 (2035)	令和22年 (2040)	令和27年 (2045)	令和32年 (2050)
現行人口ビジョン	総人口	182,671	183,107	182,734	180,496	177,956	175,537	173,184
	0～14歳	25,207	24,580	24,448	24,239	24,455	24,689	24,816
	15～64歳	108,728	108,647	107,572	104,380	98,380	94,859	92,570
	65歳以上	48,735	49,881	50,714	51,878	55,121	55,989	55,799
	老年人口比率	26.7	27.2	27.8	28.7	31.0	31.9	32.2
シミュレーション	総人口	184,661	182,180	178,693	174,851	170,797	166,494	162,010
	0～14歳	25,382	22,265	19,584	18,105	18,610	18,882	18,680
	15～64歳	110,846	110,398	108,465	104,496	96,263	90,699	86,413
	65歳以上	48,433	49,517	50,644	52,250	55,924	56,913	56,917
	老年人口比率	26.2	27.2	28.3	29.9	32.7	34.2	35.1

